

日本Rubyの会 第6期の活動 について

All About Nihon Ruby-no-Kai: Season 6

角谷 信太郎

日本Rubyの会
(株)永和システムマネジメント
shintaro@kakutani.com

KAKUTANI Shintaro; Nihon Ruby-no-kai; Eiwa System Management, Inc.

とちぎRuby会議02 Lightning Talk; 2009-10-24(Sat)

提 供

情報化技術を通じて社会と共生する



株式会社 永和システムマネジメント

RejectKaigi 2008

(2008.06.22)

Regional RubyKaigi の ご提案

How's about organize Regional RubyKaigi?

角谷 信太郎

日本Rubyの会

shintaro@kakutani.com

KAKUTANI Shintaro; Nihon Ruby-no-kai

RejectKaigi2008 基調講演;つくば国際会議場; 2008-6-22(日)



新米

感慨深い

日本Rubyの会

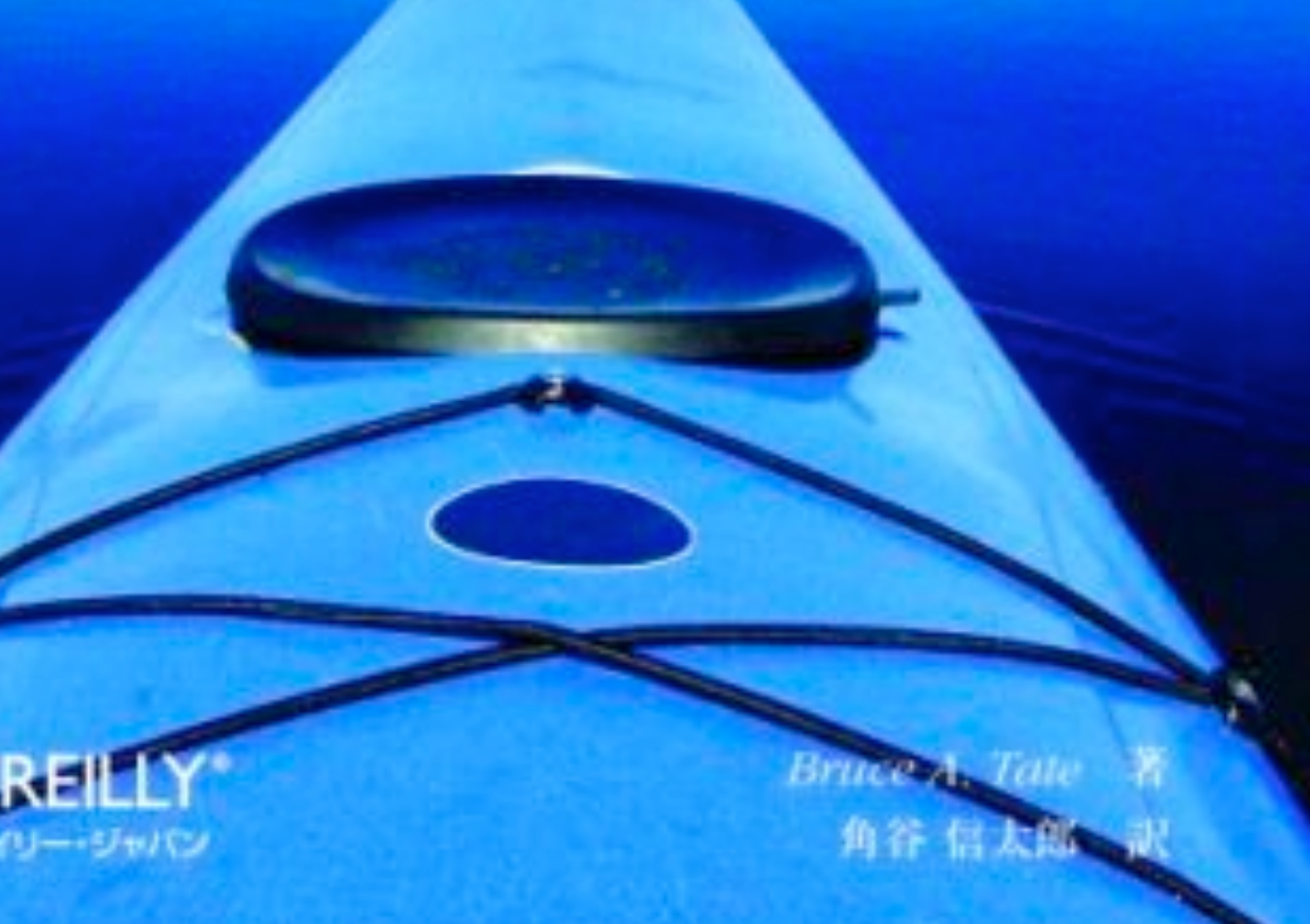
Nihon Ruby-no-kai

<http://jp.rubyist.net>

角谷信太郎

kakutani.com

KAKUTANI Shintaro



インターフェイス 指向設計

アジャイル手法による
オブジェクト指向設計の実践



The Pragmatic Programmers
Practices of an Agile Developer
Working in the Real World

アジャイル プラクティス

達人プログラマに学ぶ現場開発者の習慣

Venkat Subramaniam and Andy Hunt 著 / 角谷信太郎・木下史彦 監訳



アジャイルな 見積りと計画づくり

価値あるソフトウェアを育てる概念と技法

MIKE COHN [著]
安井 力、角谷 信太郎 [監訳]

AGILE
ESTIMATING AND
PLANNING



Asakusa.rb



よく

お願いします

日本Rubyの会

Nihon Ruby-no-kai

<http://jp.rubyist.net>

日本Rubyの会について

- [トップページ](#)
- [日本Rubyの会とは](#)
- [日本Rubyの会会則](#)
- [日本Rubyの会役員](#)
- [編集ポリシー](#)
- [入会案内](#)
- [Rubyistの集い](#)

最新の20件

2009-09-27

- [Ruby勉強会@関西](#)
- [第38回 Ruby/Rails勉強会@関西](#)

2009-09-22

- [第37回 Ruby/Rails勉強会@関西](#)

2009-09-17

- [SideMenu](#)

2009-09-15

- [RubyEventCheck](#)

2009-09-13

- [日本Rubyの会Wiki](#)
- [RubyEventCheck2008](#)

2009-08-27

- [TODO](#)

2009-08-23

- [第36回 Ruby/Rails勉強会@関西](#)

2009-08-08

最新情報

- [2009-09-13 Rubyist Magazine 第27号を公開しました。](#)
- [2009-07-17から19まで 日本 Ruby 会議 2009を開催しました。](#)
- [2009-06-30 Rubyist Magazine 第26号を公開しました。](#)
- [2009-02-07 Rubyist Magazine 第25号を公開しました。](#)
- [2008-10-02 Rubyist Magazine 第24号を公開しました。](#)

(過去のニュース)

活動予定

日本Rubyの会について

- [日本Rubyの会とは](#)
- [日本Rubyの会会則](#)
- [日本Rubyの会役員](#)
- [編集ポリシー](#)
- [入会案内](#) (Rubyの会メーリングリストについて)

リソース

- [Rubyist Magazine](#)
- [Ruby関連ドキュメント](#)
- [日本Rubyの会ロゴ](#)
- [TODO](#)
- [プレスリリース](#)
- [Rubyが使えるサーバー一覧](#)
- [Rubyが使えないサーバー一覧](#)
- [Ruby活用事例集](#)
- [Rubyistの集い](#)

リンク

- [Ruby Home Page](#)
- [日本 Ruby 会議](#)
- [地域 Ruby 会議](#)

日本Rubyの会は、
Rubyの利用者の支
援とRuby(+Ruby
のライブラリ)開発者
の支援を目的とした
任意団体です。

親愛なる

2004

鋪鋪

プロジェクト

✓ るりま

- ✓ Rubyリファレンスマニュアル刷新計画

✓ るびま

- ✓ Rubyist Magazine

✓ 日本Ruby会議

✓ 地域Ruby会議

ReleasedProducts

2009-02-03 10:50:51 +0900 (248d); rev 9

「Rubyリファレンスマニュアル刷新計画」でリリースされたものです。

パッケージ版

リファレンスのコンパイル済みデータベース、簡易Webサーバ、refe2が入っています。(使用方法: [ReleasePackageHowTo](#))

chm版

リファレンスをchm形式にまとめたものです。

ダウンロード

修正版・スナップショット

- スナップショットリリース (月一回程度)
 - <http://doc.okkez.net/archives/>
 - <http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/>
 - 日付が新しいものが最新です。
- Webからの閲覧:
 - <http://doc.okkez.net/> (全バージョン一日一回更新)

最新のリリース版「1.9.0」

- パッケージ版(1.8.6/1.9.0):
 - <http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.9.0-dynamic.tar.bz2> (2.8M)
 - <http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.9.0-dynamic.tar.gz> (4.5M)
 - <http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.9.0-dynamic.zip> (15M)
- chm版:
 - (1.8.6) <http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.8.6-chm.zip>
 - (1.9.0) <http://www.ruby-lang.org/ja/man/archive/ruby-refm-1.9.0-chm.zip>

Related Pages: [FrontPage](#) [PublicCommentsDone](#)

Bitclust

- [1.8.0](#)
- [1.8.1](#)
- [1.8.2](#)
- [1.8.3](#)
- [1.8.4](#)
- [1.8.5](#)
- [1.8.6](#)
- [1.8.7](#)
- [1.8.8](#)
- [1.9.1](#)
- [1.9.2](#)

Static HTML

- [1.8.0](#)
- [1.8.1](#)
- [1.8.2](#)
- [1.8.3](#)
- [1.8.4](#)
- [1.8.5](#)
- [1.8.6](#)
- [1.8.7](#)
- [1.8.8](#)
- [1.9.1](#)
- [1.9.2](#)

Download

- [archives](#)

What's this

[Ruby リファレンスマニュアル刷新計画](#) の成果物を簡単に見られるようにしています。詳細は[るりまWiki](#)を参照してください。

Information

このサービスは okkez が個人的に自宅のサーバで提供しているものです。時々、落ちてたりエラーが出ていたりしますが、そういうものです。連絡をいただければ、速やかに復旧したいと思っています。また、予告無く色々実験し始めることもあります。更新情報やサーバのメンテナンス情報はブログや Twitter を参照してください。

- <http://typo.okkez.net/>
- <http://twitter.com/okkez>
- GPG fingerprint = F05D 1C37 1AD0 76B5 A451 D01D 7F98 8974 DEC7 1A04

このサーバで配布している CHM ファイルは [株式会社 那由多屋](#) の Yuya さんに作成していただいています。
(okkez が Windows 環境をもっていないため)

Ruby関連の情報が満載

IBM提供の開発者向けお役立ち情報。使えるサンプルも公開
www.ibm.com

OIAXのRails夜間セミナー

2時間×4回で学ぶ速習コース 東京渋谷、11月17日開講、18:30
www.oiax.co.jp

NTT西日本のデータセンタ

的確なリスク管理で経営を強くする データセンタソリューションをご提供
www.ntt-west.co.jp

Rubyist Magazine 0027 号

更新日時:2009/09/16 14:48:50

『るびま』は、Ruby に関する技術記事はもちろんのこと、Rubyist へのインタビューやエッセイ、その他をお届けするウェブ雑誌です。

目次

▶ 巻頭言

書いた人：るびま編集長 高橋征義

編集長からの 0027 号発行の挨拶です。(難易度：高)

▶ Ruby の歩き方

Ruby をはじめるにあたって必要な情報をご紹介します。本稿は Rubyist Magazine 常設記事です。(難易度：低)

▶ 【五周年記念企画】 Rubyist Magazine へのたより

五周年記念。読者の方々と編集者からコメントをいただきました。(難易度：五周年)

▶ Rubyist Magazine 五周年

書いた人：ささだ

おかげさまで Rubyist Magazine は五周年を迎えました。そこで、Rubyist Magazine の現状と、今後について考えてみました。

▶ VBA より便利で手軽 Excel 操作スクリプト言語「Ruby」へのお誘い (前編)

書いた人：こしばとしあき

VBA の代わりに Ruby を使って Excel を操作することの喜びと便利な使い方を紹介します。2 回の連載予定で、今回は前編です。(難易度：中)

▶ ActiveLdap を使ってみよう (前編)

書いた人：高瀬一彰

LDAP を ActiveRecord 風に扱うことのできるライブラリです。2回の連載予定で、今回は前編です。(難易度：中)

▶ Ruby から DirectX を扱う簡易高速ゲームライブラリ DXRuby の紹介

検索

0027号 (2009-09)

巻頭言

Ruby の歩き方

るびまへのたより

るびま5周年

Excel操作Scriptへ誘い(前)

ActiveLdap を使おう(前)

DXRuby の紹介

Rubyist にできること

RegionalRubyKaigiKaigi

中国の若きエンジニアの肖像

るびまゴルフ 【第 7 回】

読者プレゼント

RubyNews

RubyEventCheck

編集後記

(上記記事名は短縮形)

バックナンバー

各号目次

分野別目次

0026号 (2009-06)

0025号 (2009-02)

0024号 (2008-10)

0023号 (2008-03)

0022号 (2007-12)

0021号 (2007-09)

0020号 (2007-08)

0019号 (2007-05)

0018号 (2007-02)

0017号 (2006-11)

0016号 (2006-09)

0015号 (2006-07)

RubyKaigi2006特別号

0014号 (2006-05)

0013号 (2006-02)



RubyKaigi

<http://rubykaigi.org>



<http://www.randomfractals.com/Flickorama/Flickc>

✓ 日本Ruby会議

✓ (The) RubyKaigi

✓ <http://rubykaigi.org>

✓ 地域Ruby会議

✓ Regional RubyKaigi

✓ <http://regional.rubykaigi.org>

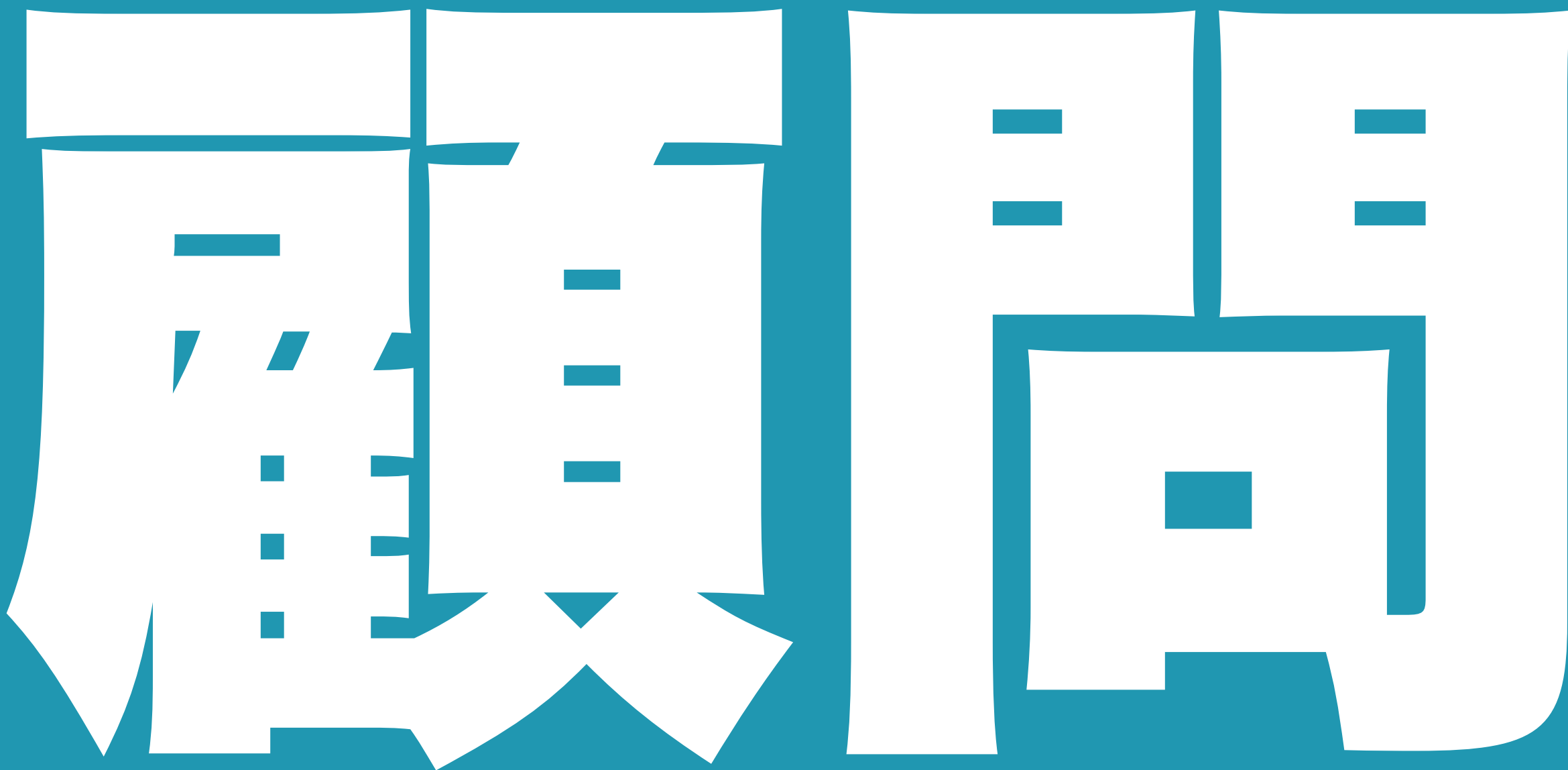
体制

命

畏



高橋征義





```
lloc((n + 1)* siz  
ar *)&v2[n + 1];  
= ++i)  
y(p, v1[i],  
= p;  
1 + 1;
```

スーパー・
プログラマになる
4の思考法

の世界

まつもとゆきひ

日経Linux

まつもとゆきひる

```
igarg.argv = *argv;  
defined(PSTAT_SETCMD) &  
rigarg.len = get_arglen  
f  
defined(USE_DLN_A_OUT)  
d1  
15  
arguments args;  
ions opt;  
or t  
argv[0]);  
prog
```

理想事業

第5期(08-8~09-7)

✓ 理事: かずひこ

✓ 理事: 角谷信太郎

✓ 理事(会計): 安積伸弥

✓ 理事(会計): 笹田耕一

第6期(09-8~10-7)

✓ 理事: かずひこ

✓ 理事: 角谷信太郎

✓ 理事(会計): 安積伸弥

✓ 理事(会計): 笹田耕一

✓ 理事: 島田浩二 ← [NEW!!!]



“RubyやRubyに携わっている人たちから頂いたものを日本Rubyの会という繋がりの中で少しでも多く返していけるよう、精一杯努力していこうと思っています。

島田浩二

**“理事を退任しても、
日本Rubyの会のウェブ
ブサイトやメーリング
リスト等のメンテナン
スなどをこれまでどお
りお手伝いしますの
で、引き続きみなさん
どうぞよろしく願い
します。**

かずひこ



金

員

入会案内 (Rubyの会メーリングリストについて)

日本Rubyの会には、本会の趣旨に賛同する個人ないし法人が、会員として参加することができます。入会に際して、特に会費などは徴収しておりません。日本Rubyの会メーリングリストへ登録すれば、その時点で、本会に入会したとみなされます。登録の前に、「**日本Rubyの会とは**」および「**日本Rubyの会会則**」をよくご確認ください。

当会は「Rubyの利用者の支援」、「Ruby(+Rubyのライブラリ)開発者の支援」を目的とした任意団体です。支援されたい人ではなく、支援したい人のコミュニティです。これからRubyを使い始めよう、という人は[Rubyメーリングリスト](#)への参加お勧めします。

なお、このメーリングリストは、会員への連絡や、日本Rubyの会の運営のための議論に使用されます。

日本Rubyの会(およびメーリングリスト)への参加を希望される方は

To: ruby@ml.fdiary.net
Cc: maki@rubycolor.org
本文 (自己紹介など・そのままメーリングリストに送られます)

の要領でメールを送ってください。このメールがそのままメーリングリストに配信され、同時に参加登録が行われます。

なお、メーリングリストは[QuickML](#) で運営しています。また、メーリングリストに流れたメールは、登録希望のメールを含めて、**すべてアーカイブにて公開されます**。ご注意ください。

メーリングリストのアーカイブ: [Rubyの会MLアーカイブ](#)

更新日時:2007/07/08 20:24:37

キーワード:

参照:[[日本Rubyの会Wiki](#)] [[SideMenu](#)]

Ruby入門なら

CTCテクノロジーの教育サービス。基本文法からプログラム作成まで

Ruby集中講座

スキルアップが出来る集中講座 をナガセ Web/DTPスクールで

Ads by Google

Founded by 日本Rubyの会.

This Wiki is running on [fdiary.net wikifarm](#). Powered by [NaCl](#) and [security-keeper](#).

Generated by [Hiki](#) 0.9dev (2009-08-24).

Powered by [Ruby](#) 1.8.5 (2006-08-25).

Join us now!

美觀

あまり上手で
ない感

勢いがあるように見えるが

✓ **人手不足**なところが**開発**

以外にもたくさん

✓ **“いつもの人たち”**や、手

を動かすべきでない人た

ちが**手を動か**してる

コミュニケーションギャップ

✓ 日本語と英語

✓ RubyとRails

✓ “たのしい”と“勤勉”

空前の ピラミッド ブーム到来



**コミュニティのあり
かたについて**

“Railsという現象”とコミュニティの性質

2009/07/21

登場からわずか5年。Webアプリケーション開発のあり方を根底から変えてしまったと言われるWeb開発フレームワークの「Ruby on Rails」。なぜ5年という短期間で普及し、今なお驚異的速度で進化を続けているのか。7月17日から3日間の予定で東京で行われたイベント「RubyKaigi 2009」の初日に講演したフリーランスのRails開発者、松田明氏は、自身のRails開発とコミュニティ参加の経験から“Railsという現象”についての考察を披露した。

開発者とユーザーの間にある「超えられない壁」



「Railsエコシステムの研究」と題した講演で松田氏が指摘するのは、Rails開発コミュニティの特異性だ。一般的なOSSコミュニティは中心にリーダー的存在と、少数のコア開発者がいて、それ以外の「ユーザー」は、開発者グループに容易に入っていくことができない。

「私はApacheやLinuxのユーザーで利用させてもらっているが、開発者ではない。そこには超えられない壁がある」（松田氏）

Railsがベースに使う言語処理系のRubyも同

<http://www.atmarkit.co.jp/news/200907/21/rails.html>

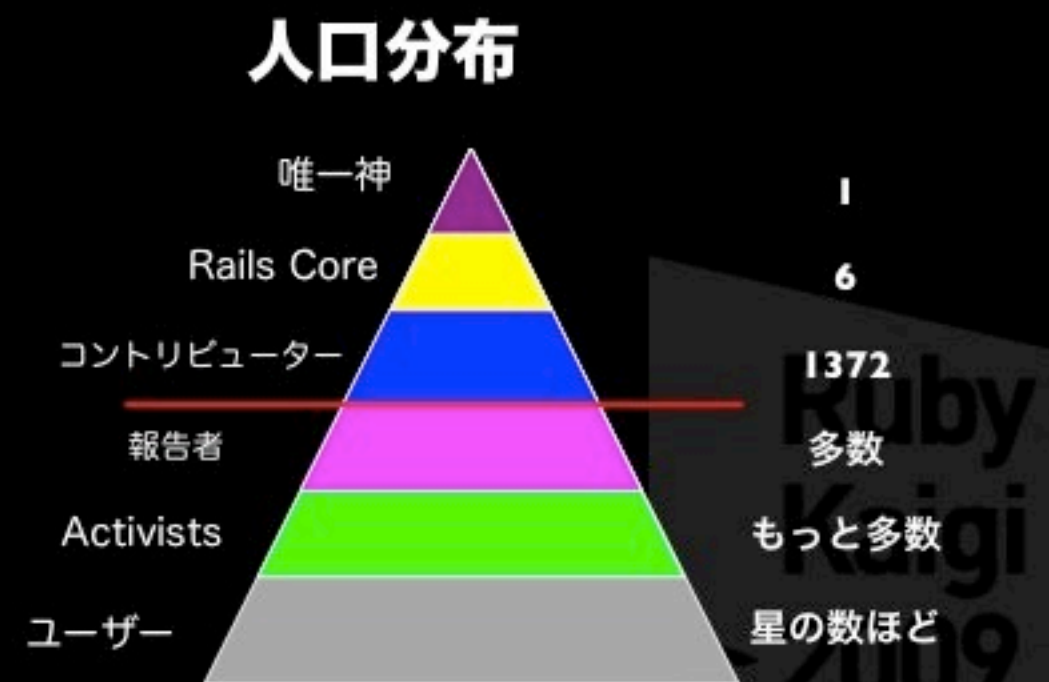
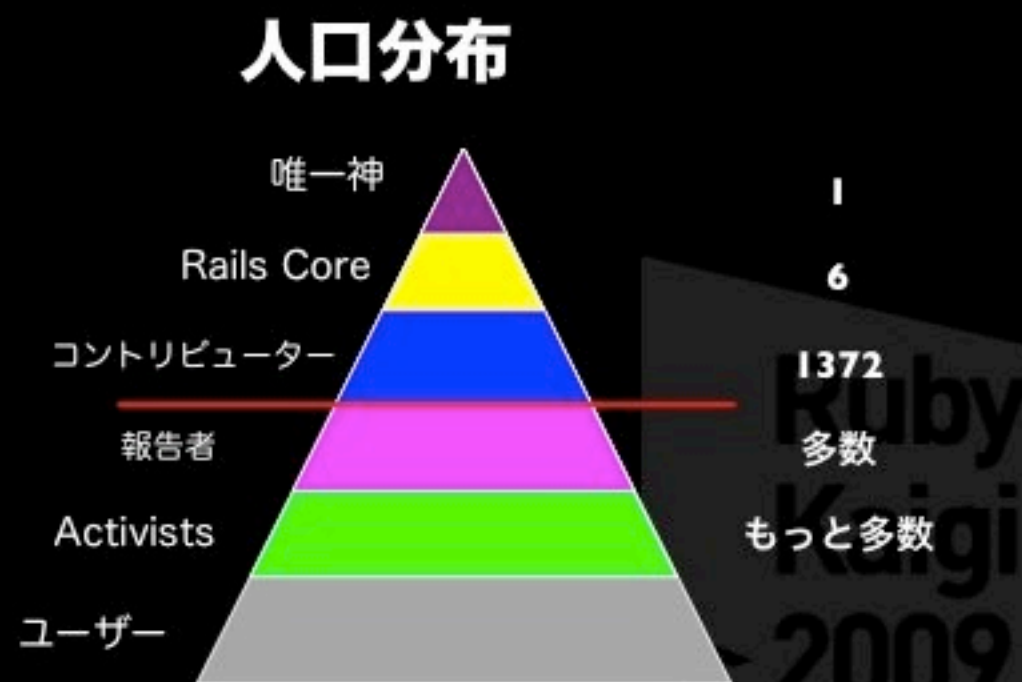
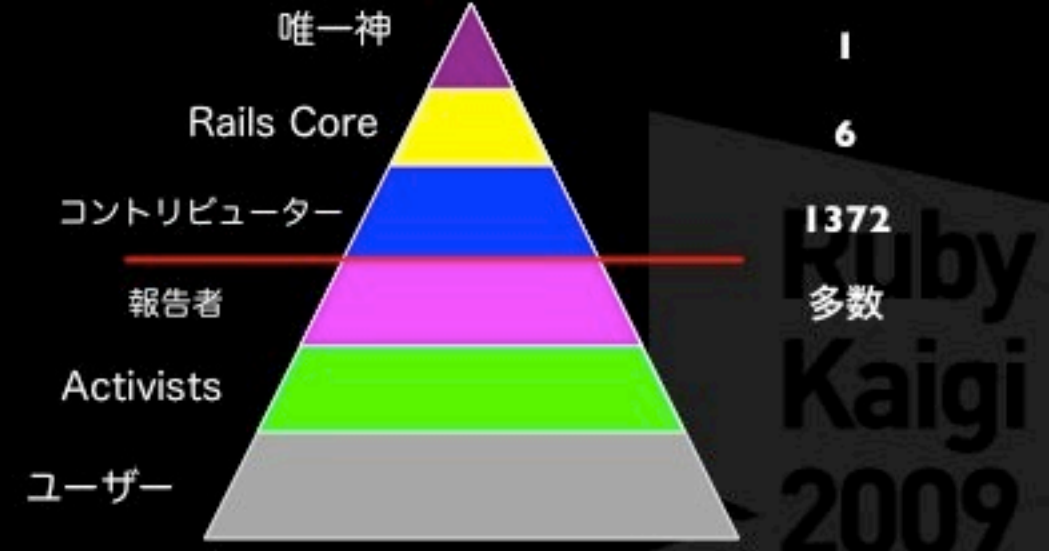
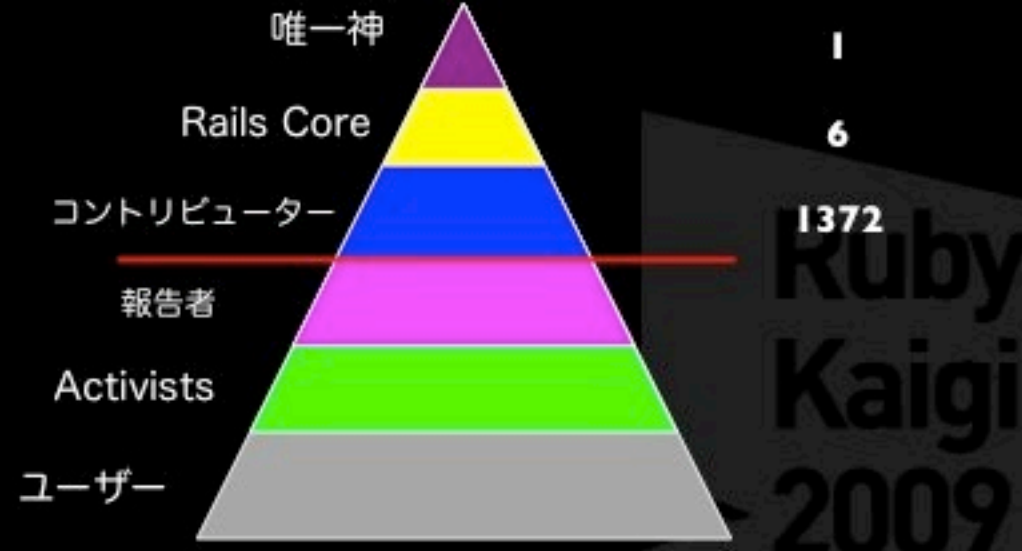
地球

ス

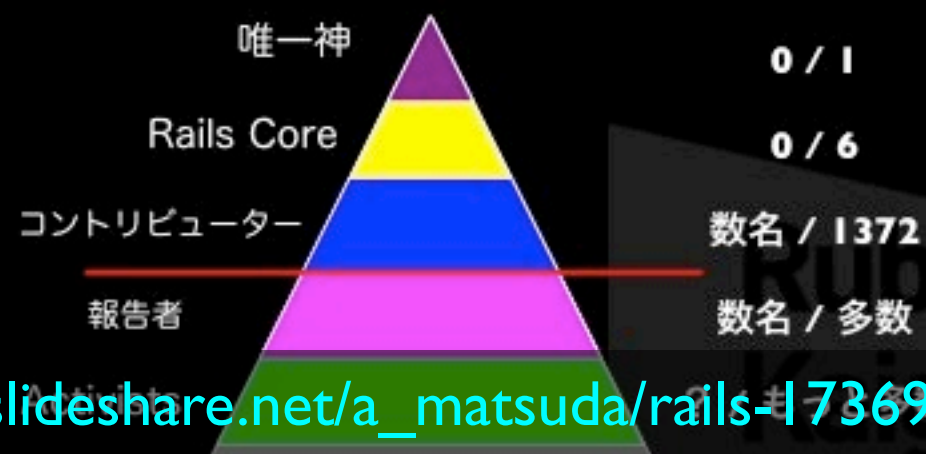
@IT Spec

クラウド
時代の
DB

DE
い
ク
は
Ne



日本における人口分布



いきなり結論

みんなもっと
参加しようよ！

Ruby Kaigi

Aaron Quint



**RubyKaigi
2009**

📍Tokyo, Japan July 17-19 2009

SPEAKER

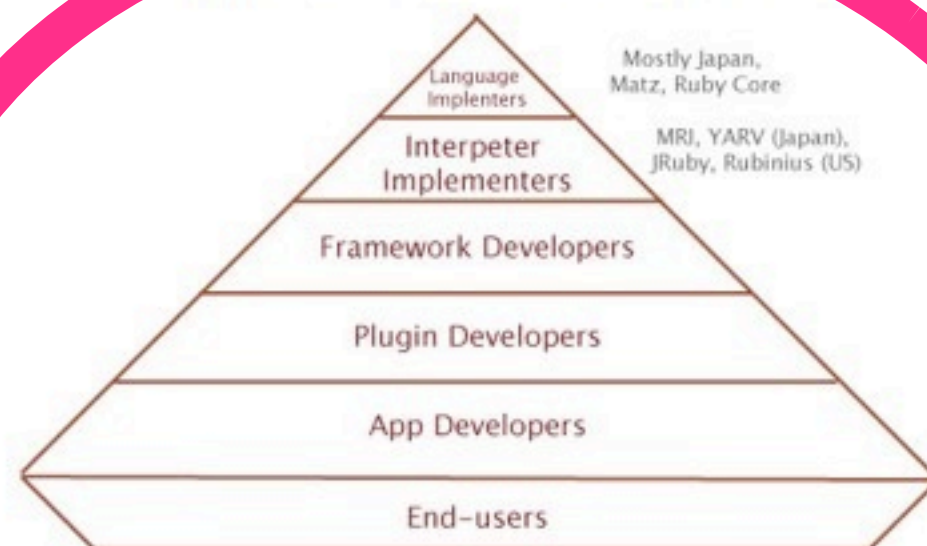
Ruby Kaigi '09: Post-mortem

...opportunity to go to Japan and speak about Sinatra and Vegas ([slides here](#)). I attended all 3 days of the conference, and though I didn't understand all of the Japanese talks ([Leonard Chin](#) did a great job translating the keynotes and some of the other major talks) it gave me a whole new perspective on Ruby and the Ruby community.

The Hierarchy of the Ruby Community

As a Rubyist, I use the Ruby language almost every day. I know most of the stdlib and its methods without thinking. There are certain things I love about it and certain things I hate. Have I ever thought about submitting a patch to the Ruby language? No. There are a couple reasons for this: I don't really know C; Ruby's openness lets me change the stdlib without changing the language itself. Something I hadn't really thought about before, though, is that I'm not a language implementer. In fact, this applies to basically every Rubyist outside of Japan. Rubyists in the US and the rest of the world fit into different parts of the Ruby Hierarchy. Japan, and Ruby Kaigi, however, is the home of language implementers. There's something completely and utterly different about language vs framework vs plugin vs app. The discussions on a language level are on a much higher level. As Matz revealed in his keynote, there are a bunch of language feature branches that he's been just toying with, some that have been sitting there for months. Most of them might never be part of Ruby. Thinking about the implications of a new feature, or a change in Ruby's API, made me realize just how different the thought processes are within the different levels of the community.

When I thought about it, I realized that there were pretty clear delineations between different groups within the community. It started to look something like this:



Subscribe via RSS

Also Recent

- ✂ Sammy 0.3.0 Released: I gotta right to swing! September 30th, 2009
- ✂ Sammy.js, CouchDB, and the new web architecture September 15th, 2009
- ✂ jQueryConf 2009 September 14th, 2009
- ✂ Vegas: Rack it up August 31st, 2009
- ✂ Rails Rumble: Please Tag Your Photos August 24th, 2009
- ✂ Ruby Kaigi '09: Post-mortem July 31st, 2009
- ✂ Headed out: What I've been up to June + Early July '09 July 15th, 2009
- ✂ Sammy.js hits a new milestone (0.2.0) June 12th, 2009

Search

Conferences

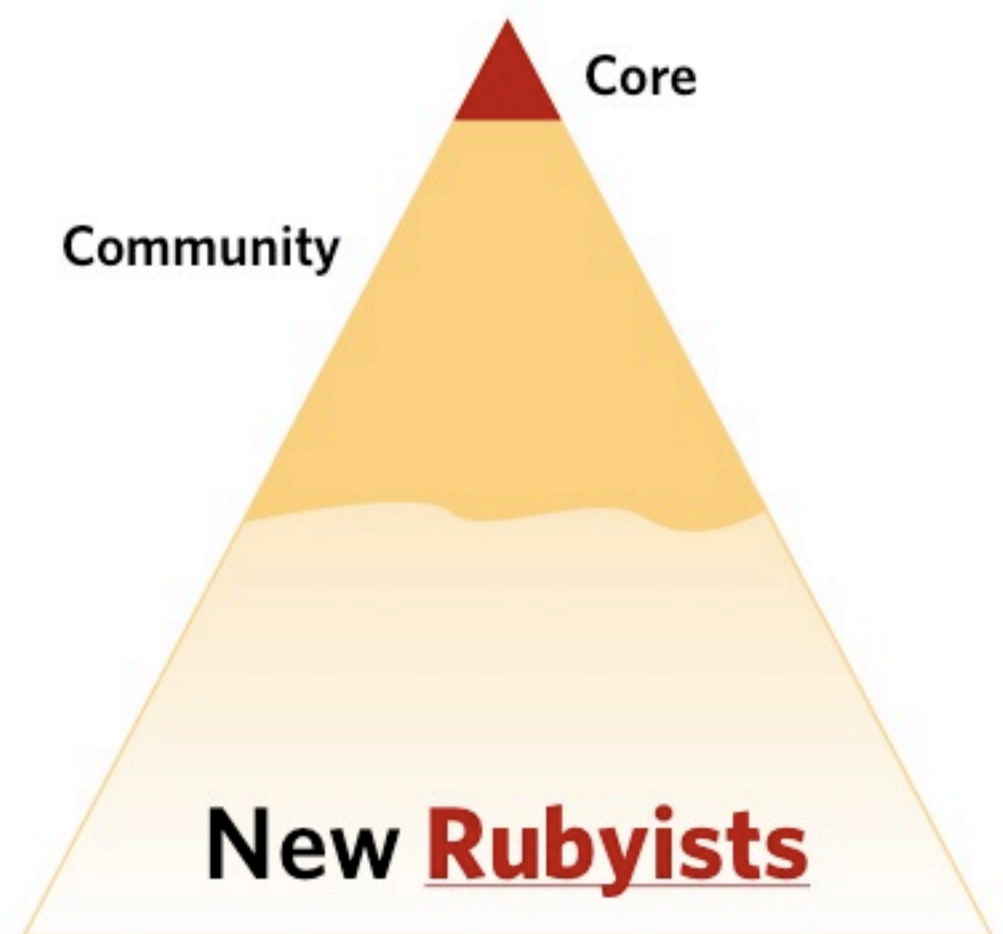
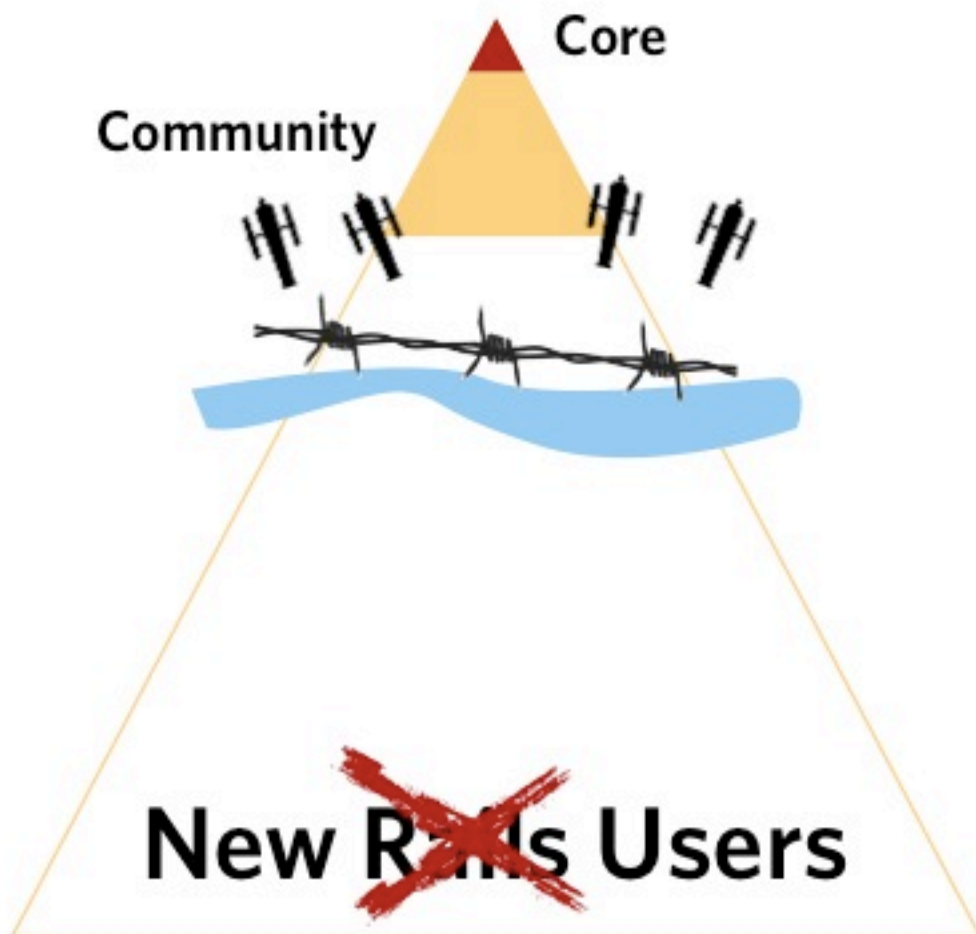
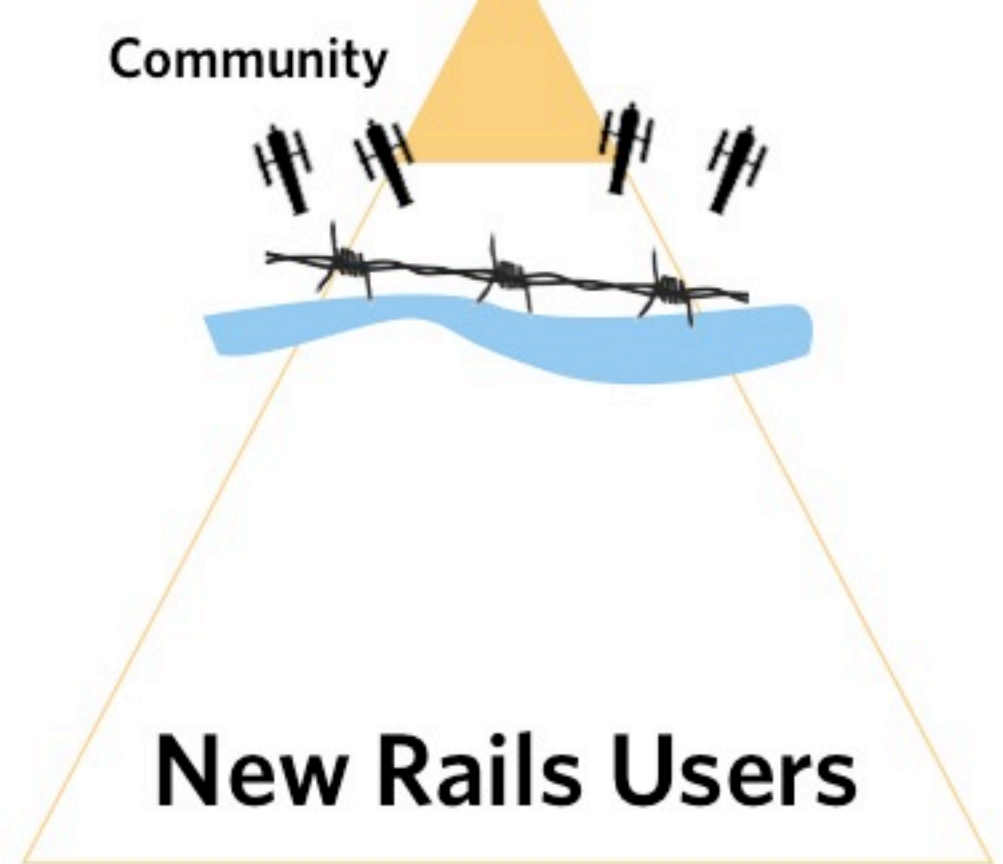


I'm Speaking at Ruby Kaigi '09 in Tokyo Japan



Jeremy Kemper

at **Ruby**World
Conference 2009
in **Matz-e**, Japan



それぞれが色々なこ
とを考えている

Contribution Pyramid

✓ “数”が**目的**ではない

✓ “数”は**結果**でしかない

✓ でも “数”が増えないと

新陳代謝が起きない

日本Rubyの会

Nihon Ruby-no-kai

<http://jp.rubyist.net>

第6期

方針

- ✓ コミュニティの**新陳代謝**と**貢献**スケールの**連続性**を支援
- ✓ 各**プロジェクト**が**独立**して動けるように
- ✓ “**いつもの人たち**”から**仕事を**剥がしていく

プロジェクトは継続

✓ るりま

- ✓ Rubyリファレンスマニュアル刷新計画

✓ るびま

- ✓ Rubyist Magazine

✓ 日本Ruby会議

✓ 地域Ruby会議

そろそろ本気だしたい

✓ **w.r.o** のコンテンツ更新

✓ <http://www.ruby-lang.org>

✓ **情報ギャップ解消**の取り組み

✓ **日本語** → **英語**, **英語** → **日本語**

✓ **新参**と**古参**

✓ **各種リソース**の状況の**整理**

✓ **新しい人**にもわかるように

✓ **新しいこと**を始められるように

(今すぐは)やらないこと

✓ 法人格の取得

- ✓ 運営事務に見合うだけの活動実態はほんとにあるの？
- ✓ Rubyアソシエーションに支援してもらってる
- ✓ (でも東京に住所は欲しいなあ)

✓ 会長の交代

- ✓ 高橋征義なしに高橋征義的である仕組みづくりを？
- ✓ あるいは高橋征義が不要な日本Rubyの会？
- ✓ 日本Rubyの会は会長権限が絶大な非民主的組織です

Rubyistに できること



Rubyist にできること

更新日時:2009/09/13 10:32:43

検索

0027号 (2009-09)

巻頭言
 Ruby の歩き方
 るびまへのたより
 るびま5周年
 Excel操作Scriptへ誘い(前)
 ActiveLdap を使おう(前)
 DXRuby の紹介
 Rubyist にできること
 RegionalRubyKaigiKaigi
 中国の若きエンジニアの肖像
 るびまゴルフ 【第 7 回】
 読者プレゼント
 RubyNews
 RubyEventCheck
 編集後記
 (上記記事名は短縮形)

バックナンバー

各号目次
 分野別目次
 0026号 (2009-06)
 0025号 (2009-02)
 0024号 (2008-10)
 0023号 (2008-03)
 0022号 (2007-12)
 0021号 (2007-09)
 0020号 (2007-08)
 0019号 (2007-05)
 0018号 (2007-02)
 0017号 (2006-11)
 0016号 (2006-09)
 0015号 (2006-07)
 RubyKaigi2006特別号
 0014号 (2006-05)
 0013号 (2006-02)

著者：かずひこ

- [はじめに](#)
- [使う](#)
- [アップデート](#)
- [Ruby 1.9](#)
- [コードレビュー](#)
- [バグ報告](#)
- [助けを求める](#)
- [プロファイルをとってみる](#)
- [メモリ使用量をチェック](#)
- [パトロール](#)
- [ソフトウェアの自由](#)
- [おわりに](#)
- [著者について](#)

はじめに

Rubyist のみなさん、こんにちは。私事ですが、先日 4 年間務めていた[日本 Ruby の会理事の職を離れ](#)、晴れて「ただの日本 Ruby の会会員」になりました。そこで、「ただの日本 Ruby の会会員」というか「ただの Rubyist」にできることって一体何だろう、と考えることにしました。

[日本 Ruby の会 公式 Wiki - 日本 Ruby の会とは](#)によると、日本 Ruby の会の目的は、

- Ruby の利用者の支援
- Ruby (+Ruby のライブラリ) 開発者の支援

だそうですので、だったら私にもいろいろできることはあるのかなと、この 1 ヶ月間にいろいろやってみたことを紹介したいと思います。

使う

Ruby を使うのは当然として、世の中にたくさんある「Ruby で書かれたフリーソフトウェア」を使ってみましょう。もちろん、使うだけでなく、フリーソフトウェアならソースを見て勉強できますし、自分好みにカスタマイズしたり、新しい機能を追加したりできますから、「何となく使う」ではなく、「使って使って使い倒す！」勢いが肝心です。

<http://jp.rubyist.net/magazine/0027-WhatWeCanDo> 6年くらい前から使っているブログじゃなくて Web 日記システムの [tDiary](#) と、6年くらい前から使っている Wiki エンバンの [Hiki](#) です。そして、自分で使うだけでなく、tDiary と Hiki のホスティングサービスを提供することで、

これはガチ

Rubyistにできること

✓ 試す, 使う, 読む, 参加する

✓ フィードバック!!!

✓ フィードバックをした/し
ようかなとしている人に
“声”をかけてみる

Contacts

✓ **ruby**@ml.fdiary.net

✓ **Twitter**

✓ **#rubynokai**

✓ **IRCNet**(!freenode?)

✓ **#ruby-no-kai**

**“Matz is nice,
so we’re nice.”**



We Want
You!